

令和元年度
大地の会 事業活動報告書



社会福祉法人 大地の会

<令和元年度を振り返って>

新年号となって、初めての年を迎え大きな節目の年でありました。消費税率の引き上げ対応のための介護報酬改定、特定処遇改善加算の開始や働き方改革の対応など様々な変化もありました。

特に特定処遇改善加算については職員の持つ資格や勤務年数などによっては大幅な処遇改善になりました。今後、職員の定着や資格取得のモチベーションアップになるのではと期待をしています。

ご利用者様へのサービスについては、ご本人やご家族などが抱えている課題が多様になってきていると感じます。介護保険改正によって、医療ニーズへの対応や中重度の要介護者の受け入れ、ケアマネジメントの質向上と認知症の方への対応、口腔衛生管理・栄養改善の取り組みなどのテーマが出されました。それぞれの取り組みは加算となって、サービスメニューの増加にもなりますし、収入に反映してきます。来年度も出来るだけ加算につながるサービスを増やしていきたいと思います。

また、加えて特養は介護度の重い方が増えてきています。現場の介護負担の軽減・サービスの効率化のため、さらなる ICT 化や介護ロボットの活用などの検討を進めてまいりたいと思います。

ほの里の開設もあり職員の補充・増員に伴い、組織としての多様な在り方を検討してまいりましたが、その一つとして昨年、塩田ホームでは新たな人材の活用として、外国人技能実習生の受け入れを2名行いました。言葉や文化の壁などの心配もありましたが、実習生自身の真面目さや努力もあって大切な人材となっています。うち1名は技能試験にも合格し、6月には2人目の試験を控えています。課題は日本語の習得ですが、介護技術だけでなく、日本語習得のためのフォローを行っていききたいと思います。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、次期のベトナムからの技能実習生の受け入れが遅れていますが来年度以降も受け入れを進めていけるよう準備を進めてまいりたいと思います。

来年度は人事交流として、塩田ホームからほの里への人事異動があります。初めての試みですが、同じ法人でありながら性格や中身の異なる施設への異動で職員のスキルアップにつながるよう今後も対象者を広げてまいりたいと思います。その他、採用計画として就職相談会の開催や高校・専門学校・大学などに対して求人を含め、介護職および大地の会のアピール活動を継続して行ってまいります。

年度末にかけて全世界的に新型コロナウイルス感染が広がり、感染拡大防止のための「新しい生活様式」の取組が求められています。特に高齢のご利用者は重症化のリスクがあります。施設は集団生活の場になり、クラスター化するリスクもあります。ご面会や行事、理事会評議員会運営など中止や例年とは違う形で行うなど工夫をしながら、ご利用者様の安心・安全と同時に私たち自身も守られるように感染症対策に努め、運営をしてまいりたいと思います。

〈令和元年度 社会福祉法人大地の会 会議運営状況実績〉

【理事会開催状況】

第1回理事会 令和元年5月13日（月）開催

〈審議内容〉

第1号議案 評議員選任解任委員会 事務局委員の選任について

第2号議案 現評議員の退任について

第3号議案 評議員欠員の補充のための新評議員推薦について

第4号議案 職員給与規定の改正について

第5号議案 評議員選任解任委員会の招集について

第2回理事会 令和元年6月5日（水）開催

〈審議内容〉

第1号議案 平成30年度 大地の会事業報告について

第2号議案 平成30年度 大地の会決算報告について

第3号議案 平成30年度 監事監査報告について

第4号議案 平成30年度 大地の会 社会福祉充実残高について

第5号議案 任期満了に伴う役員（理事・監事）の選任案について

第6号議案 令和元年度定時評議員会の招集及び付議案件について

第3回理事会 令和元年6月24日（月）開催

〈審議内容〉

第1号議案 理事長の選任について

第2号議案 評議員選任解任委員会 委員の承認について

第3号議案 銀行借入金について

第4回理事会 令和元年7月11日（木）開催

〈審議内容〉

第1号議案 施設長の選任について

第2号議案 理事の選任について

第3号議案 役員等報酬規程の一部改正について

第4号議案 令和元年度第2回評議員会の招集及び付議案件について

第5回理事会 令和元年11月18日（月）開催

〈審議内容〉

第1号議案 新規事業計画について

第2号議案 新規事業計画に伴う定款変更について

第3号議案 令和元年度第3回評議員会の招集及び付議案件について

第6回理事会 令和元年11月28日（木）開催

〈審議内容〉

第1号議案 給与規定の改正について

第7回理事会 令和2年3月16日（月）開催

〈審議内容〉

第1号議案 令和元年度 収支予算書の補正について

第2号議案 令和2年度 事業計画について

第3号議案 令和2年度 収支予算書について

第4号議案 定款の変更について

第5号議案 役員等報酬規程の改正について

第6号議案 評議員会の招集日程案について

【評議員会開催状況】

第1回評議員会 令和元年6月24日（月）開催

〈審議内容〉

第1号議案 平成31年度 事業報告について

第2号議案 平成31年度 監事監査報告について

第2回評議員会 令和元年7月29日（月）開催

〈審議内容〉

第1号議案 理事の選任について

第2号議案 役員等報酬規程の一部改正について

第3回評議員会 令和元年11月28日（木）開催

〈審議内容〉

第1号議案 新規事業計画について

第2号議案 新規事業に伴う定款変更について

第4回評議員会 令和2年3月24日（火）開催

〈審議内容〉

第1号議案 定款の変更について

第2号議案 役員等報酬規程の改正について

第3号議案 令和元年度 収支予算書の補正について

第4号議案 令和2年度 事業計画について

第5号議案 令和2年度 収支予算書案について

令和元年度末 職員数比較

塩田ホーム

在籍人数	男	女	合計
平成30年度末 (H31.3.31)	常勤		62
	27	35	
	非常勤		30
	9	21	
令和元年度末 (R1.3.31)	常勤		50
	12	38	
	非常勤		18
	1	17	

令和元年度 退職者数

介護職(常勤)	12
介護職(非常勤)	9
看護師(常勤)	1
通所介護(非常勤)	1
通所送迎(非常勤)	1
事務・ケアマネ(常勤)	5
合計	29

令和元年度 入職者数

介護職(常勤)	7
介護職(非常勤)	9
看護師(常勤)	1
看護師(非常勤)	2
通所送迎(非常勤)	2
事務・ケアマネ(常勤)	5
合計	26

ほの里南林間

在籍人数	男	女	合計
平成30年度末 (H31.3.31)	常勤		46
	10	36	
	非常勤		9
	9	0	
令和元年度末 (R1.3.31)	常勤		50
	12	38	
	非常勤		18
	1	17	

令和元年度 退職者数

介護職(常勤)	6
介護職(非常勤)	5
看護師(非常勤)	1
特養相談員(常勤)	2
合計	14

令和元年度 入職者数

介護職(常勤)	13
介護職(非常勤)	6
看護師(非常勤)	1
事務(常勤)	1
合計	21

令和元年度
塩田ホーム事業活動報告書



社会福祉法人 大地の会

<塩田ホーム 令和元年度の主な取り組みの成果>

1、塩田ホームのサービス品質向上 PLAN

- ① 利用者(家族)と一緒につくるケアマネジメント体制(自立への支援)の構築と運用
- ② プライバシーを守ります
- ③ 一人一人への個別ケア(特別感)を大切にしていきます。

今年度はご家族を交えたサービス担当者会議を年間回開催し、ご利用者一人一人に合わせたケアプランを作成しました。ご利用者やご家族の思いを大切にしながら、塩田ホームでの生活がより良いものとなるように様々な職種と協働してプラン作りをしています。また、今年度はご利用者のお誕生日に合わせてその方の嗜好に合わせたものを用意して、当日にお祝いするなどの新しい催しをしました。

2、塩田ホームの職場環境の向上 PLAN

- ① 多様な人材が働ける環境を構築していきます。
- ② 職員が働きやすい職場をつくっていきます。

ベトナムからの技能実習生を6月、10月にそれぞれ1名ずつ迎えました。日に日に日本語が上達し、ご利用者とも上手にコミュニケーションが取れるほどになっています。日中の介護業務が一通り出来るようになり、来年度は夜勤業務につけるように実習を進めてまいります。また、限定正職員制度を利用する職員が増えて、制度の理解も深まり、仕事と家庭の両立が出来るようになり家庭の事情に合わせて柔軟な勤務体制とすることが出来ています。また、お子さんが成長されて手が離れることで限定正職員から正職員へ変更する方もいます。今後も制度を上手に利用してもらい、長く働ける環境づくりに努めていきます。

3、塩田ホームの人材育成 PLAN

- ① 大地の会の求める人材への育成を行います。
- ② 人事考課制度(大地の会キャリアパス制度)の活用をしていきます。
- ③ 職員研修体制を充実させていきます。

人材育成については全体研修など全体のベースアップになるものの研修が多くありました。次年度の課題として新人、中堅、ベテラン・上級に分けた階層別研修などキャリア形成につながる教育研修システムを検討してまいります。また、キャリアパス制度に連動した人事考課制度については継続して行っています。上司となる面談・評価者のスキルアップ、DO-CAP シートの見直しなどを引き続き行ってまいります。

4、塩田ホームと地域連携 PLAN

- ① 地域交流と地域連携を実践していきます。
- ② 地域貢献と国際貢献を実践していきます。
- ③ 世代間交流活動を実践していきます。

4、塩田ホームと地域連携 PLAN

- ① 地域交流と地域連携を実践していきます。
- ② 地域貢献と国際貢献を実践していきます。
- ③ 世代間交流活動を実践していきます。

今年度は地域交流の場として、年間行事の納涼祭、文化祭、餅つきなどご利用者と地域の方々、施設との交流を重ねてきました。新型コロナウイルスの感染拡大防止もしながら、引き続き、地域住民の皆さんや子供たちと交流できる機会を検討してまいりたいと思います。

5、社会福祉法人としての使命の追及

- ① 多様な人材採用・教育活動の展開
- ② 塩田ホーム公益的な取り組みの展開
- ③ 外国人技能実習制度受入対応に向けて

今年度は、ベトナムからの外国人技能実習制度における実習生が2名来日し、実習活動が始まりました。次年度も2名の実習生の来日が予定しておりますので、受け入れの準備を進めていきます。また、長期的に技能実習生の他、留学生や特定技能の外国人の受け入れも検討をしてまいりたいと思います。また、継続して職員のキャリアアップ・資格取得支援などを行い、各個人に合わせたキャリアデザイン、キャリアパス計画を進めていきます。

〈令和元年度 部署別活動実績〉

【相談援助部門】

【令和元年度 相談援助部門目標】

- ・地域社会の一員として、地域住民のサービス利用希望に迅速な対応を図り、1人でも多くの方がご利用できるよう懇切丁寧な対応をする。
- ・ご利用者及び家族関係の構築と「最後まで利用してよかった」と感じてもらえるよう、塩田ホーム内外の調整役として役割を果たす。

令和1年度 項目別行動計画

- ◆適性な稼働率が保てるように、入所待機者及び新規利用者の獲得に努めます。
- ◆各自担当する委員会には必ず参加し、部門内職員への伝達・周知を行います。また、事務所内の環境整備に取り組み、協働のもと超過勤務の平均化・削減を目指します。
- ◆各種関連事業への参加・地域住民との交流等、地域における公益的な取り組みに着目し、想像と発想を持ちながら塩田地区における課題の把握と社会福祉法人としての役割を模索し、実践していきます。

令和元年度 活動の成果

・相談援助部門における支援向上について

- ① 部門研修・部門会議…今年度は人員の減少に伴う業務量の増加があり、実施出来なかった。
- ② 公益的な取り組み…いきいき体操や各行事の準備・運営等において、部門職員は積極的に参加できた。
- ③ 勤務体制…人員の減少により勤務体制の見直しを図り、時間帯固定の勤務に戻し、最善な業務体制で行うことが出来た。年度末になり人員は安定したが現状の勤務時間が最善と考え、来年度以降も現在の勤務体制を維持して行きたいと考える。

・生活相談員独自の支援向上について

- ① 稼働率・丁寧な説明力…担当者変更に伴い特養の稼働率の減少を最小限に留める為、ロングSS利用の方の特養入所を優先させた為、一時的にSSの稼働率が大幅に下がる事となる。特養・SSとも目標の稼働率を維持する事が出来ず力不足を感じてしまったが、外部事業所やご家族、ご利用者様からの信頼回復については概ね取り組めたと考えます。
- ② 他部署職員との連携…共通の問題に対して情報共有を図る事は概ね出来たと考えます。来年度に向けて更なる質の向上は必要と考えますが焦らず取り組んでまいります。
- ③ 相談員部会・外部研修の参加…人員の減少に伴い業務量の増加があり参加出来なかった。又、新型コロナウイルスの流行に伴い会議が中止されたことも要因の一つである。

・施設ケアマネ独自の支援向上について

- ① 認知症ケア・・・本館、新館ケアマネジャーで認知症実践者研修に行かせて頂き、より認知症への理解を深めてまいりました。難しいケースに対してもお互いが勉強してきた事を生かし、各業種と連携し、解決に尽力しました。
- ② ケアプラン…今年も担当ケアマネ及び担当相談員間で介護保険の認定期間を確認し、認定機関オーバーが発生しないように留意しました。今年から機能訓練指導員も入り、ケアプランにも反映し、入居者様のADLも向上しております。R2年1月には監査もあり、ケアプランの必要な部分、不必要な部分を助言も

【ユニット型特養部門～新館～】

【令和元年度 部門目標】

入居者一人ひとりが満足できる個別ケアの実践を目指します。

令和元年度 項目別行動計画

会議	役職者会議：毎月各ユニットの状況を確認しあう。ユニット炊飯の充実に向けて ユニット会議：個別ケアについての確認。ユニット目標の確認 他。（会議の参加は主任、他ユニットリーダーも不定期で参加する）
職員教育について	（基礎研修）ユニットケアの基礎を学び新館全体が目指すユニットケアを共通認識していく （認知症研修）認知症についての理解を深め、利用者の尊厳を守りより良いサービスを行う
行事、レクレーションについて	施設行事の他に、ユニット内のレクレーションを実施。新館合同レクレーションを5回開催。 月ごとに企画担当を各ユニットで行い他ユニットの協力に元開催する。ご利用者間、ご利用者と他ユニットの職員の交流、職員間の連携を図る。
新館独自の行動計画について	① ユニットケアの充実 ② 個別ケア：24Hシートの作成に向けた、入居者の生活スタイルの見直し

【令和元年度活動の成果】

【会議】

役職者、ユニット会議は2ヶ月ごとの会議を行いました。物足りない部分や会議のボリュームが増え、次年度はユニットケアを進めるうえで話し合いの時間を多く持ちたいので1か月ごとの開催を目指します。

【職員教育】

- ・ユニットケアについての内部研修を年度初めに行いました。理解をすることは出来ても、どのような事をすれば良いのかと、職員一人ひとりが行動に移すことができませんでした。
- ・その他新館独自の内部研修は行うことがありませんでした。

【行事・レクレーション】

- ・ユニット内では季節に合ったレクレーションや、ご利用者の希望されるレクレーションを開催しました。また、外出や外食にも行くことが出来ました。
- ・合同レクレーションは2回行うことが出来ました。感染防止や職員不足から5回行うことが出来ませんでした。

【新館独自の計画】

- ①ユニット炊飯：朝、昼、夕と3回の炊飯を行うことが出来、ナリコマスタートと共に昼のみ、ユニット配膳を行い、入居者の目の前で食事の支度を行うことが出来ました。

まだまだ目指すユニット配膳には遠いですが、一步前進した事には間違いありません

- ③ 個別ケア：職員全体で24Hシートへの意識の向上は見受けることが出来ました。入居者の生活スタイルの観察や、どのような生活を望むのかを聴き取りしましたが、職員目線の部分が多くあり、次年度はユニットケアの理解をもっと深めて取り組みを行っていきます。

頂き、ブラッシュアップ致しました。

- ③ 夢プランの実施・・・今年度より、誕生日の日にその方のケーキを出し、お祝いを行うプランを行いました。自分の誕生日の日にケーキが食べられるということで、好評ではありましたが、一人で食べるのはみんなが欲しがるのではという理由からケーキをそのユニット人数分に切る事となり、当初より、一回の食べる分が少なくなっていました。全体的にはしっかりとその方の誕生日を意識し、他のユニットの方にも誕生日を祝って頂ける等、非常に有意義なプランになったかと思えます。

【従来型特養～本館～】

【令和元年度 部門目標】

利用者様日々の生活が安楽、安心して過ごして頂く環境作り

- ① 接遇
- ② 介護基本技術、知識の向上（食事、排泄、入浴）、
- ③ 事故に対して意識向上
- ④ 職員教育（チームワークの向上）

【令和元年度 項目別行動計画】

ハナ	相手の気持ちに寄り添い、おもてなし、おもいやりの心を持って接する。
ニジ	人に見られて聞かれて恥ずかしくない対応を心がける。 人に教える時はやってみせ、言ってみせてみてほめてのばしていくことを心がける
ツキ	おもてなしの気持ちを忘れず、心の通うケアを行う。
ホシ	職員一人ひとりの専門職としての意識を高めていく。 ご利用者様の立場に立ったケアを実践する。
本館独自の行動計画について	・ 事故への意識の向上（危険予知） ・ 良いチーム作りを目指し会議で利用者のケア、事故の振り返りをし、チームで同じ目標（共通認識）に向かえることを目標とする。

令和元年度 活動の成果

【部署目標について】

- ① 会議や面談で利用者に対しての声掛け等接遇面の話をし良くなっている部分もあるが、まだまだ時間がかかると感じる。その場で注意出来る環境、人を増やして行く。
- ② 入浴マニュアル作成し入浴での事故がおきないように職員間で周知が出来た。
- ③ 前年度からの課題の一つの落薬が去年よりは服薬の仕方を再度考え、意識し件数も減ってきている。下半期は0を目指したい。
内出血の事故が多く骨折の事故もでてしまった。同じ原因での事故を繰り返さないよう職員間での周知徹底を継続する。
- ④ 7月から技能実習生を2Fで受け入れ、言葉の理解もむずかしいなか、職員全員で協力し指導出来た事はとてもよかった。
中堅職員の協力がまだまだ乏しく、下半期は中堅職員と役職の話し合いの場を作り共有認識を強化していきたい。

【本館活動について】

- ① 8月のスイカ割り
- ② 9月花火大会
- ③ 季節に合わせたおやつレクなど各グループ積極的に行ってくれている。

【短期入所部門】

【令和元年度 部門目標】

1. 平成31年度 部署目標

初心・基本を忘れず、ご利用者様の心情に寄り添い、安心できるようチームで取り組むために、職員一人一人のプロ意識を向上する。

【令和元年度 項目別行動計画】

ケアサービス の向上 について	*モモ ご利用者が安心できる、温かな環境作りに務める *モクレン ご利用者様に対し真摯かつ丁寧に向き合い、落ち着いて過ごせるような雰囲気を中心掛けて行う。
ショートステイ部門 独自の 行動計画について	① モモ・モクレンご利用者様に合わせたレクを行い、ユニット別レクに力を入れ、ご利用者に多く楽しんでもらうよう、計画・実施して行く。 ② 環境を整え、ご利用者様に合った居室作りや、不安な思いに寄り添い落ち着いて過ごせるようチームで取り組む。
活動の 成果	1年を通じて、ご利用者様に楽しんでいただけるレクを担当職員が工夫を凝らし、多くが出来ました。ショートステイで、楽しく過ごしていただけていることがリピート利用につながっていると思います。また、不安な様子の方にも時間をかけながらゆっくり過ごしていただけるように心がけました。

【栄養部門】

【令和元年度 部門目標】

- ・新しい食形態の導入により、ご利用者のADLの維持、向上を図る。形態アップを目指していく。
- ・ユニット炊飯、新しい食器を購入し、ご利用者が快適に過ごしていけるようにサポートを行う。

【令和元年度 項目別行動計画】

- ・食料量の発注精度の向上
- ・調理衛生、適切な調理手順の徹底
- ・新しい食器の管理
- ・適切な栄養ケアマネジメントの実践

令和元年度 活動の成果

栄養マネジメントについて

- ・食形態変更の際は、CMや医務だけではなく、ユニットの職員も交えて行った。
- ・肉のみ刻みやパン1/10カット等利用者個人の体調、嚥下状態に合わせた食事の提供を行った。
- ・体重測定の結果や血液検査の数値を見て、栄養補助食品の提供を開始した。

献立について

- ・日本各地のご当地食、季節に合わせた行事食、誕生日会の特別献立の実施。
- ・各ユニットのご利用者からのリクエスト食もカニ汁やガーリックライス等のユニークな献立を提供できた。

研修会について

- ・市内の2施設見学に行った。
- ・排泄ケアの研修では、便秘の利用者への補食や献立の工夫の方法を学んだ。
- ・ユニットケア研修では他職種による食事管理を学んだ。

厨房物品について

- ・食洗機が新しくなり、食器の洗浄時間が短縮できた。

【医務部門】

【令和元年度 医務部門目標】

- ①利用者の重度化、看取り体制へ向け対応を充実していく。
- ③ 誤薬防止

令和元年度 項目別行動計画

- 職員指導について ①入職時業務マニュアルを使用し、OJTによりオリエンテーションを実施する
②外部研修に参加し、参加職員による内部研修へつなげてゆく。
- 利用者健康管理 ①送り・記録の電子化を利用し、日常の体調不良については、早期対応（受診検討や医師報告）できるよう調整する。
②誕生日とその半年後の健康診断の結果を本人・家族に報告し、また、職員間での情報の共有をはかり、より良い暮らしにつなげてゆく。
③ショート部門にて緊急の入退所に対応できるよう調整する。
- 機能訓練 ④生活リハを中心にADL向上につながるよう、アドバイスや実施指導を行う。
- 設備管理/コスト削減①医療材料の過不足なく物品管理を行う。
②医療機器の点検・管理を定期的に行う。
③人員配置の調整や業務の見直しにより、残業を減らす。
- 医務室独自 ①委員会、ケア担当、内服管理など業務分担をし、マニュアルの整備によりケアの質を保つ
②看取り対象となる方があった時、医療やケアの実施について統一した対応ができるようカンファレンスを実施する。（医務室内での統一、及び職員間への統一）
- ④ 記録電子化に対応し、共有した情報を生かせるように試行し定着させる。

令和元年度 活動の成果

職員指導

- ①職員の入職に合わせ、オリエンテーションや研修を行い、特養の医務室の業務内容やその根拠を指導した。
- ②各担当委員会に関連した外部研修に参加し、情報を研修に生かした。

利用者健康管理・リハビリ

- ①体調変化については他部署と情報の共有を行い、受診や嘱託医の指示確認を行った。また、急変に伴う救急搬送に対応した。
- ②健康診断を実施し、結果についてはADL会議の場で家族にも説明し、健康管理につながるよう医師とも連携を図った。
- ③生活リハを中心に、ポジショニングやリハビリの計画を立て助言した。
- ④緊急ショートは、高度な医療を必要とするケース以外は受け入れ、体調の変化観察と医療ケアを実施した。

設備管理

- ①医療材料の個数管理を実施した。
- ②医療器具の管理を行い、看護師以外が使う器具については、使用方法を指導した。
- ③人員配置の調整をおこなった。

その他

- ①委員会やケア担当、内服管理など業務分担をし、ケアの質を保つよう努めた。
- ②看取り対応となるケースの方針やカンファレンス内容を共有し、他職種とも情報共有した。
- ④ 記録の電子化を実施し、全員が記録の確認が行えるようにした。

【デイサービスセンター】

【令和元年度 部門目標】

整理整頓：情報の整理、事業所の整頓

平成 30 年度 項目別行動計画

ケアサービス向上について	他施設での介護職による事件が多発している中、塩田デイサービスなら大丈夫という大きな信頼をご家族様、ご利用者様から得られるよう、事業所の透明化を図り安心して安全なサービスの提供を実施します。
職員教育（安全対策等）について	適切なマニュアルに沿って安全で安心なケアをチームで学び、知識を得て実践に繋げる事が出来、ご利用者様やご家族様との信頼関係を築ける職員の育成を目指します。
設備管理／コスト削減について	建物の老朽化が進み危険箇所をしっかりと踏まえ修繕すべき箇所は速やかに行いご利用者様に安全なサービスと不備のない対応を常に行って行きます。コスト面でもこれまで同様、物品に対し丁寧に扱うこと、多量なストックの禁止、必要に応じた新規購入の検討など意識を高めます。
デイサービス部門独自の行動計画について	15周年を機に「地域のデイサービス」の意識を深め地域の方とコラボレーションした催しを企画、参加いたします。

令和元年度 活動の成果

【ケアサービスの向上】

ご利用者様、御家族様対象の接遇アンケートを実施し、結果を真摯に受け止めさらなるサービスの向上に努めました。

【職員教育】

定期的な研修の実施、問題発生時の早期解決など実践に生かせるノウハウを身に付けました。

【コスト削減】

カラーコピーの印刷数の減少で大きな結果が得る事ができました。物品の取り扱いについて意識も高まり特にペーパーレス化は進んでいます。

【独自の行動計画】

地域参加、地域貢献の具体的な実行について日曜提供も早や 2 年経ちました。安定した稼働を今後も継続出来る様努力します。

【(介護予防) 訪問介護事業】
【障害福祉サービス 居宅介護事業】

【令和元年度 訪問介護（介護／障害／有償運送）部門目標】

令和元年度 項目別行動計画

- ①より良いサービスの提供を継続するために情報の交換・共有に努め、共通の視点でサービスを提供していくとともに利用者の生活や心身に関わる変化を見落とさないように常に『気づき』の目を養っていく。
- ②新たな利用者を獲得し、業務改善に努めていくとともに、サービスの質の向上を常に目指していく。
- ③利用者から計画書にないサービスを求められた際は、自己判断せず必ず責任者へ確認し指示を仰ぐように周知徹底する。
- ④業務拡大に向けて職員増員を目指していく。

令和元年度 活動の成果

- ・サービス提供責任者が4名になり、情報の交換・共有に努めようと努力したが、話し合いの時間が少なく、なかなか共通の視点でサービスを提供することができなかった。
- ・介護保険制度が変わり、要支援者の利用を受け入れる事業所が減ったことから、要支援の利用者が増えた。
- ・急なサービスの利用相談にも、できる範囲で対応した。
- ・登録ヘルパーとの情報共有にメールを活用し周知に努めた。
- ・福祉有償運送では、事故無くサービスができた。
- ・登録ヘルパーが増えないが、できる限り職員で協力しながら利用者数を増やせるように努力した。
- ・たくさんの課題に、訪問チームとして少しずつ前向きに取り組むことができている。

【障害福祉サービス 計画相談支援】

令和元年度 項目別行動計画

- ①より良いサービスの提供を継続するために情報の交換・共有に努め、共通の視点でサービスを提供していくとともに利用者の生活や心身に関わる変化を見落とさないように常に『気づき』の目を養っていく。
- ②新たな利用者を獲得し、業務改善に努めていくとともに、サービスの質の向上を常に目指していく。

令和元年度 活動の成果

【障害福祉サービス】

障害サービスの相談も増え、サービス利用に繋がっている。

利用者が困ることなく生活するために、障害サービスから介護保険サービスに併用または移行ができるように相談やサービスに努めている。

【計画相談支援】

近隣に障害グループホームができたことや、他事業所から引き継いだことで利用者数が増えた。

利用者やサービス事業者からの相談などに、その都度対応した。他職種との連携に努めた。

【居宅介護支援事業所】

【令和元年度 部門目標】

介護保険の動向や国の指針の見直しにも対応していけるよう情報収集を行うと共に、各種研修や学習会への参加を通して、各ケアマネージャーがどのようなケースにも適切なケアプランを提供できる能力を身に付け、広く地域に貢献していける事業所を目指します。また、今後は医療的なケアの必要な方や支援困難なケースの増加が予想され、介護保険だけでなく医療に関することや、生活保護や成年後見など、様々な制度の利用も不可欠となることに備え、制度への理解を深めるとともに、情報収集や各部署との連携を強化していきます。

令和元年度 項目別行動計

職員教育（ケアマネジメントサービスの向上）について	事業所内での定例会議を開催しケアマネ間での情報共有を徹底すると共に、各ご利用者のニーズに沿った介護計画を立案し、的確なサービスの調整ができるよう、アセスメント能力や面接力の向上を目指す。特定事業所として各種研修への参加を積極的に行っていく。また、法人内の他のサービス（訪問、通所、短期入所、本入所）との連携を密にして、ご利用者やご家族の立場に立った、連続性のあるきめ細かいサービスの提供ができるようにする。
職員教育（相談援助環境の向上等）について	年々、独居や老老介護、障害や持病をお持ちの在宅要介護者が増えて来ており、これまで以上に柔軟な対応ができる体制が必要になっている。また介護にあたるご家族にも様々な事情や要望があり、それぞれのご利用者が置かれている状況をより的確に把握できるように、さらなるアセスメント力の強化を図るとともに、相談しやすい環境や姿勢などを身に付けていく。
設備管理/コスト削減について（共通）	節電のため、訪問時に事務所が無人になる際などには消灯し、エアコンやパソコンもオフにするなどを徹底する。また、コピーの仕損じなどにも注意して無駄な用紙が出ないように意識する。室内の温度も温め過ぎず、冷やし過ぎず、服装などで調整する。近隣の場合には徒歩や自転車を活用して訪問するよう心がける。
居宅介護支援事業所部門独自の行動計画について	5名のケアマネージャーが新規利用者の獲得のため、各地域包括支援センターとの関係を密にしていける。また、それぞれが担当しているケースの情報を事業所全体で共有できるよう定期的に事例検討を行ったり、支援困難ケースについては検討会議も随時行いながら対策を講じていくためのシステムを作り上げる。

令和元年度 活動の結果

- ・ケアマネの一名減員や他事業所閉鎖に伴う担当利用者の引き継ぎがあったが、スムーズに行うことができた。その後も円滑にサービス提供が出来ている。
- ・訪問時や研修など、外出時の交通事故や違反もなかった。
- ・各包括や病院との連携が取れ、新規利用者の獲得を積極的に行うことが出来た。一方、ご逝去や入院、入所などの要因で支援終了するケースも多く、年度全体としてはほぼ件数は横ばいという結果だった。
- ・昨年度も各種研修に参加させていただき、スキルアップや知識の取得などに役立てることが出来た。
- ・平成31年1月末に実施された実地指導にて注意を受けた点を見直し、事業所内での状況確認や記録の再点検を行い、法令に則った加算の算定を行うよう心がける。
- ・今年度は介護支援専門員の実習生の申し込みがなかった。次年度の受け入れに向けて準備していく。

〈令和元年度 各委員会活動報告〉

【福祉用具管理運用委員会】

開催実績	H31.4.16 R 1.5.21 R 1.6.18 R 1.7.16 R 1.8.20 R 1.9.17 R1.10.15 R1.11.19 R1.12.17 R2.1.21 R2.2.18 R2.3.17
今年度委員会での 協議・活動内容	<活動内容> 委員会毎月開催 必要な物品の検討、購入 リース用品の開始 物品の把握 適時裏の倉庫整理 R1.11.15 勉強会 福祉用具を使用した褥瘡予防 <修理、購入物品状況> エアマット（リユース）4台購入 R1.5.26 赤外線センサー 1台購入 R1.5.26 エアマット3台 リース 高低反発マット 4台リース R1.12.1 体交クッション 大10個 小10個 購入 R1.12.1 ワイヤレスNCM3台購入 R1.12.20 ベットリモコン 5台購入 R2.1.20 転倒防止バー 1台購入 R2.2.15 ベットリモコン 5台購入 R2.3.26
次年度に向けて	利用者様が多様化し、必要な物品も増えてきているので、各部署話し合い、本当に必要な物品から購入していきます。 ベットリモコン等普段全員が使っている物の故障も多く、壊れたから購入ではなく、危険な部分を予め点検し、未然に予防、補強等を行えればと感じました。

【看取り介護向上委員会】

開催実績	H31.4.16 (火), R1.6.27 (木), R1.8.20 (木), R1.10.31 (木), 研修R1.7.24 (水)
今年度委員会での 協議・活動内容	看取りの指針見直し 委員会メンバー役割分担確認 研修 7月 看取りケアの実践 今後へ向けてケアに取り入れたい事 <看取りケアの実施と評価> 4月 本館0名 新館1名 家族希望により看取りの為の退院をされたケース。 5月 本館1名 新館0名 6月 本館3名 新館0名 透析治療を拒んだため看取りとなったケースあり。 7月 本館1名 新館1名 家族希望により看取りの為の退院をされたケースあり。 8月 本館0名 新館0名 9月 本館2名 新館0名 食事量低下について最期まで意思表示が見られた。 10月 本館1名 新館1名 看取りから一旦回復して、最終的に看取ったケース。 11月 本館 2名 新館 1名 12月 本館 0名 新館 1名 ショート 1名 1月 本館 1名 新館 1名 2月 本館 0名 新館 0名 3月 本館 1名 新館 0名
次年度に向けて	委員会での看取りケアの評価・改善の継続 加算算定に向けての取り組み強化 内部研修の実施 看取り期に全員で関わり質を上げていく

【身体拘束廃止及び権利擁護委員会】

開催実績	H31.4.10 R1.5.10 R1.6.12 R1.7.10 R1.8.14 R1.9.11 R1.10.12 R1.11.13 R1.12.9 R2.1.8 R2.2.12 R2.3.11
今年度委員会での 協議・活動内容	・身体拘束0件 ・身体拘束、虐待防止。 ・身体拘束の定義・グレーゾーンこれって拘束をテーマに内部研修 (6月24日全体) ・各部署」での問題についての報告、検討。 ・自己点検票 身体拘束、虐待防止の内部研修
次年度に向けて	・引き続き各部署での問題についての報告、検討 ・定期的な身体拘束の内部研修 (12月全体) (3月各部署) ・自己点検票実施。(12月) ・12月自己チェックシート集計・結果。身体拘束定義・高齢者虐待権利擁護 ・3月身体拘束の定義・高齢者虐待・権利擁護 (3月30日全体) - 各グループ・ユニット勉強会実施。

【施設行事委員会】

開催実績	H31.4.26 (金), R1.5.24 (金), R 1.6.7 (金), R 1.6.28 (金) R 1.7.8 (月) R 1.7.26 (金), R 1.8.23 (金) R 1.9.6 (金) R 1.9.27 (金) R 1
今年度委員会での 協議・活動内容	・ 5 月地域懇談会の実施 ・ 6 月白寿会文化祭の実施、反省 ・ 8 月納涼祭準備、実施、反省 ・ 10 月 焼き芋大会・家族交流会（昨年度分） ・ 11 月 塩田文化祭 ・ 12 月 餅つき ・ 3 月 家族交流会 ・ 焼き芋準備、役割分担 ・ 餅つき準備、役割分担 ・ 納涼祭反省 ・ 文化祭準備、役割分担
次年度に向けて	・ これまでの施設行事の継続 ・ 引継ぎの簡素化 ・ 連絡周知方法の見直し

【防災対策委員会】

開催実績	H31.4.3 H31.5.8 R1.6.5 R1.7.3 R1.8.7 R1.9.4 R1.11.6
今年度委員会での 協議・活動内容	・ 委員会計画書の確認 ・ 今年度火元責任者の通達 ・ 災害時通信機器（トランシーバー等）の点検 ・ 土砂災害想定避難誘導訓練 ・ デイ避難誘導訓練 ・ 火災想定避難誘導訓練 ・ 施設内設備点検 ・ 非常用ライト点検
次年度に向けて	・ 土砂災害想定（今年度より実施）の避難誘導訓練の継続。 ・ 災害時通信機の使用法の周知。 ・ 施設内点検の際、不備があった箇所の修理

【労働衛生委員会】

開催実績	H31.4.25 R1.5.23 R1.6.27 R1.7.25 R1.8.22 R1.9.26 R1.10.24 R1.11.28 R1.12.26 R2.1.23 R2.2.27 R2.3.31
今年度委員会での 協議・活動内容	・委員会規定の見直し ・平成30年度の健康診断の結果に基づき、産業医より健康相談を実施 ・労災の状況の確認 ・身上確認の実施 ・健康診断の実施 ・職場巡視と4S活動の実施 ・職員の駐車場整備 ・ストレスチェック配布 回収 ・産業医来所 5/8 8/9 11/12 3/31 ・倉庫整理
次年度に向けて	・職員健康診断 ・ハラスメントについての研修 ・環境整備と職員の傷病防止策検討

【感染対策委員会】

開催実績	H31.4.4 (火), R1.7.2 (火), R1.10.12 (火), 臨時 勉強会 R1.7.2 (火)・R1.7.5 (金)
今年度委員会での 協議・活動内容	食中毒対策研修「夏の季節の感染症」7月 感染症発生報告・感染症対応者リスト追加 結核検診 利用者・職員 7月 結核感染者0人 指針見直し・マニュアル見直し 4月 インフルエンザ・ノロウイルス予防対策（室温・湿度管理、手洗い・うがい励行、予防接種、環境整備（消毒）面会者管理 11月～3月末 インフルエンザ発生時の初期対応強化、感染症発生拡大防止
次年度に向けて	インフルエンザワクチン接種 肺炎球菌ワクチン 感染・食中毒防止対策勉強会 室温・室温管理継続・加湿器追加購入 感染症発生管理強化 感染症発生時のマニュアル作成

【褥瘡対策委員会】

開催実績	H31.4.4 (火), R1.7.2 (火), R1.10.12 (火), 勉強会
今年度委員会での 協議・活動内容	褥瘡マニュアルと指針の見直し 委員会メンバーの役割分担決め 褥瘡高リスク者の確認と今後の対策 勉強会、研修について準備・検討 オムツの交換時間等ケア評価
次年度に向けて	勉強会、研修 褥瘡用福祉用具の有効活用継続 看取り対象者のスキンケアに力を入れていく 難治皮膚トラブル者へのケア評価の継続

【喀痰吸引取扱対策委員会】

開催実績	H31.4.4 (火), R1.7.2 (火), R1.10.12 (火), 勉強会
今年度委員会での 協議・活動内容	胃瘻・吸引のマニュアルと指針の見直し 変更なし 委員会メンバーの役割分担決め 胃瘻・吸引研修修了者の確認・申請 2号・4号研修修了者の実務研修 0名 胃瘻・吸引対象者の計画書・指示書・同意書の作成・管理 ヒヤリ・ハット報告、アクシデント報告案件の分析・対応策検討・評価 1件 勉強会 救急対応（看取り委員会と合同）4月 感染症発生時の胃瘻・吸引管理についての検討
次年度に向けて	2号研修修了者・実務研修修了者の実施研修受け入れ継続 胃瘻・吸引技術、マニュアルの啓蒙 ヒヤリ・ハット報告、アクシデント報告の減少への取り組み 胃瘻・吸引対象者の計画書・指示書・同意書の作成・管理継続 講習会 感染症の方の胃瘻・吸引対応

【事故対策委員会】

開催実績	H31.4.16 R 1.5.21 R 1.6.18 R 1.7.16 R 1.8.20 R 1.9.17 R 1.10.15 R 1.11.19 R 1.12.17 R 2.1.21 R 2.2.18 R 2.3.17
今年度委員会での 協議・活動内容	・会議開催（毎月 1 回の実施） 各部署からの事故発生報告。集計。重大事故のカンファレンス。 ・各事故報告用紙の見直し。 ・R 1.5 前期内部研修 夜間緊急時の対応 各ユニットにて実施。 ・R 2.1.31 後期内部研修 服薬についての管理、誤薬の危険性。
次年度に向けて	誤薬がなかなか減らず、後期の勉強会は誤薬について行いました。原因不明の事故も多く、来年度は更なる誤薬防止に向けて、啓発と事故時記録の詳細化を行い、原因の究明、ヒヤリハットを多く出し、事故自体を防ぐ。そのためにヒヤリハット用紙の更なる見直しを行います。

【入退所検討委員会】

開催実績	<本館> H31.4.26 R1.6.19 R1.6.28 R1.7.5 R1.7.8 R1.7.23 R1.9.2 R1.10.18 R1.10.25 R1.11.8 R1.12.6 R2.1.20 R2.1.23 R2.2.14 R2.2.18 <新館> H31.4.25 R1.7.26 R1.10.1 R1.10.18 R1.12.10 R2.2.19
今年度委員会での 協議・活動内容	・稼働率及び待機者状況の確認 ・事前面談実施後の入所判定会議運営及び他職種間協議 ・新規入所者の利用状況確認 ・退所者カンファレンス
次年度に向けて	・待機者管理の精度が高まっている。次年度も引き続き取り組んでいく。 ・事前面談時の情報収集の精度を前年度よりも高め、内容の質を上げていく。 ・入所対象者の幅を広げて行けるよう関係職種との連携を深めていく。

【排泄委員会】

開催実績	H 31.4.4 R 1.5.7 R 1.6.4 R 1.7.2 R 1.8.6 R 1.9.3 R 1.10.1 R 1.11.5 R 1.12.10 R 2.1.7 R 2.2.4 R 2.3.3
今年度委員会での 協議・活動内容	委員会の目的と活動内容についての説明、対象ご利用者の選定と取り組み内容の検討と実行。 1 か月ごとの評価。多職種による話し合い。
次年度に向けて	評価と多職種による話し合い 新年度の取り組み者の検討と実践

【広報委員会】

開催実績	H31.4.19（金） H31.5.17（金） R1.6.21（金） R1.7.19（金） R1.8.16（金） R1.9.20（金） R1.10.18（金） R1.11.15（金） R1.12.20（金） R2.1.17（金） R2.2.21（金） R2.3.20（金）
今年度委員会での 協議・活動内容	・「塩田ホームだより」の編集、発行。毎月第3金曜会議開催。 ・在宅・特養分けての発行とする。10月号よりデイ・ショートは分離して作成。 ・毎号の各フロアの写真振り分けや、ページ内容見直し、修正、印刷。 4/5=6月号、6/7=8月号、8/9=10月号、10/11=12月号、12/1=2月号、2/3=4月号 計6号発行予定。 ・アルミ製プルタブ車椅子活動 ・広報誌作成マニュアルの作成。
次年度に向けて	・広報誌の編集（再度編集見直し行う・発行。）（年度6号発行予定：2か月毎） ・施設（活動等）写真の保管。 ・アルミ製プルタブ車椅子活動引続き行う（目標20～25kgで一度発送）

<令和元年度 日常生活活動成果について>

① クラブ活動開催実績

- ・書道クラブ…毎月1回開催。(年間12回 開催)
- ・生花クラブ…毎月1回開催。(年間12回 開催)

活動の成果

ご利用者の中には毎月楽しみにされており、仕上がった作品を眺めては、嬉しそうにされていらっしゃいました。また、秋には地元塩田自治会の文化祭に展示する作品の作成に取り組まれました。毎年お正月を迎える時期には、新年にお部屋に飾るお花の準備をするなど生け花で四季折々のお花を楽しまれています。

② ボランティア訪問等実績

- ・クローバー（歌の教室）…毎月第1・3木曜日に開催。(年間 20回 開催)

活動の成果

ボランティアグループのクローバーによる歌の時間は参加されるご利用者も多く、楽しく、みんなで歌うことで気兼ねなく歌っていらっしゃいます。曲数も毎回多く、歌ってくださるのですが皆さん好きな曲を思い思いに楽しまれています。

- ・Kナインハワイアンバンド・・・令和元年7月31日

活動の成果

今年も生演奏とフラダンスを披露していただき、夏らしい雰囲気を楽しませていただきました。ボランティアの方々がお話上手、盛り上げ上手で会場が一体になって盛り上がりました。

③ 家族交流実績

- ・家族交流会…企画をしておりましたが新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となりました。

④ 地域交流活動

- ・地域懇談会…平成31年 5月26日(土) 11時～12時半

活動の成果

例年、田名塩田地区自治会及び地域ボランティアの皆さんと塩田ホームの年間行事予定の日程調整の場を設けさせていただきました。新たにお目にかかる方もおり、1年間様々な場面において、お力添えを頂戴する皆様との顔合わせの場となりました。

- ・白寿会とのカラオケ交流…令和元年 6月26日(水) 10時～11時半

活動の成果

白寿会及び婦人部の方と塩田ホームのご利用者が一緒にカラオケを通して交流をしました。参加者の方はご自身の十八番を歌われ、歌を存分に楽しめました。

- ・塩田夏祭り（天地社）…令和元年 7月15日（日） 9時半～10時

活動の成果

今年も、子ども神輿及び塩田囃子連の皆様が来所されました。あいにくの雨の中、スイカとジュースで英気を養っていただきました。

- ・田名塩田地区文化祭…令和元年 11月17日（日）（展示のみ）

活動の成果

ご利用者が制作した生け花、編み物、お習字などの作品を展示していただきました。

- ・餅つき・正月飾り作り…令和元年 12月14日（土） 10時～12時半

活動の成果

例年と同様に地域ボランティアの皆様・生花クラブの先生など、多くのご協力のもとおこなわれました。餅つきでは、ご利用者・職員・ボランティアの皆さんが笑顔で餅をつかれており、ついた餅をお汁粉などにしてユニット・グループごとに召し上がっていただきました。

正月飾り作りでは、藁を分ける作業や束ねる作業など、地域の方のご指導のもと、お正月を迎える準備を整えることができました。

- ・いきいき 100歳体操…毎週火曜日 10時～11時

活動の成果

田名塩田地区にお住いの皆様がパブリックスペースにて 100歳体操に取り組んでいます。また、田名地区社協職員による体力測定を行い、取り組みの成果を確認しています。

- ・介護相談員の訪問…2名の介護相談員が月1回ずつ訪問

活動の成果

介護相談員の方が塩田ホームに来所され、ご利用者のお話を伺っていただきました。塩田ホームでの生活のことなど、職員に話せないことなどがないかなどを外部の相談員の方が聞いてくださっています。

⑤ 世代間交流活動実績

＜園児との交流＞

企画をしておりましたが新型コロナウイルス感染拡大のため、中止となりました。

令和元年度
ほの里南林間事業活動報告書



社会福祉法人 大地の会

平成31年度 ほの里南林間の目指すもの

平成 31年3月 1日

理 念

ご利用者に喜ばれる質の高いサービスの提供

毎日の生活の中で基本的な生活行動だけでなく楽しみや生きがいを持ちながら、あらゆる面で人としての尊厳が守られなければなりません。細やかな気配りで、ご利用者様が安心して生活できるよう支援いたします。

地域社会との共助と協働

私たちの事業は、たくさんの方のご理解やご協力が不可欠です。共に助け合い、共にご利用者様や地域の方と楽しみながら行事を開催するなど、地域の困りごとや相談に対しても協力しながら解決できるようなコミュニケーションを図ってまいります。

誇りを持って働くことができる人づくり

人材育成は私たちの喫緊の課題でもあります。職員が仕事に誇りを持ち、福祉の仕事に携わるにふさわしい力を持ち合わせて、働きがいのある職場づくりをしてまいります。

事業計画の基本方針

1. 私たちは、利用者の立場にたった最高の福祉サービスを提供し、たくさんの笑顔あふれるほの里を創ります
2. 私たちは、誠実、公平な行動を信念とするほの里であり続け、利用者、社会の信頼を宝とします
3. 私たちは、健全経営に徹し、利用者・家族・職員に対し、継続的な経営責任を果たします。

全職員参加

1. 経営参画活動項目（経営参画項目）
2. 業務改善項目（超過勤務0を目指す）
3. 6S活動の推進（全部署による活動）
4. 全体研修会の参加（管理職・一般職）
（管理者は、管理職研修に毎回必ず参加する）
（一般職研修は、4回のうちに1回どちらかに必ず参加）
5. 朝礼の開催
（毎朝、各部署は朝礼を必ず開催すること）

各部門の整備・充実

① 入所部門（ベッド稼働率UP 104.7%UP）

（各セクション別月間目標）

従来型）68床 / 稼働 平均29,953千円 / 日当円 14,210円
ユニット型）29床 / 稼働 平均11,057千円 / 日当円 12,300円
全体）97床 / 稼働 平均48,501千円 / 日当円 13,255円

・平均介護度 要介護4

（重点項目）

1. 約3か月で入所満床を実施、入所のベッド稼働向上を目指す（サービス強化・看護加算申請の実施）
2. 異常兆候の早期発見を行い入院を最小限に抑える
3. 入院中のご利用者を早期に施設に戻し空床ベットを期間をなるべく少なくする

- ③ 施設内感染対策防止対策及び安全管理体制の強化・継続教育の実施

② 短期入所部門

（各セクション別月間目標）

従来型）10床 / 稼働 3,315千円 / 日当円 13,069円
ユニット型）10.3床 / 稼働 4,172千円 / 日当円 10,696円
全体）20.3床 / 稼働 74,870千円 / 日当円 11,882円

・平均介護度 要介護3

（重点項目）

1. 短期入所稼働を7月より開始できるように準備を行う
2. 午後入所・午前退所の確立
3. 空床ベット活用の実施キャンセル待ち利用者の強化

- ④ 地域啓蒙活動への取組開始
見学会の他、対外広報講演強化

<社会福祉法人大地の会ほの里南林間 令和元年度の主な取り組みの成果>

1、全職員参加項目

- ① 経営参加活動項目
半年後稼働率平均 96%以上を目指す
- ② 業務改善項目
超過勤務 0
離職の防止
- ③ 6S活動の推進
- ④ 全体研修の参加
- ⑤ 朝礼の開催

【活動成果】

- ① ユニット 1 年間平均 87% 10 月～の半年平均 96%平均介護度 3.9、従来型 1 年間平均 87% 10 月からの半年平均 96.6%平均介護度 4.1、SSユニット 5 月からスタートし平均 51%、SSユニット 3.1、SS従来型 7 月からスタートし平均 45%稼働SS従来型の平均介護度 3.1 の実績であった。
入所については順調に入所を伸ばしていき、年度末には 96%を推移することができた。しかしSSについては入所との同時調整に相談員・介護職員が受け入れに苦戦を強いられてしまい令和 2 年 1 月には 80%ほど推移していたが、現在はコロナウィルスの影響により 60%稼働に落ち込んでいる。令和 2 年度はSSの稼働に重点を置き実施をしていく
- ② 超過勤務 0 を目指すを掲げたが、マニュアルの作成や入所調整等勤務に偏りがみられ残業を実施する職員が多くみられた。今後は個々に効率の良い仕事をする目標を設定し実施をしていく
離職の防止はほの里開設より全体で 88 名の入職があり 23 名の退職者がいた離職率は 26%新規入所施設としては離職率を 30%以下に抑えることができたことで順調に利用者を増やすことができたと考えられる。今後も継続的に仕事しやすい職場作りを目指したい
- ③ 6S活動の推進
上記課題が開設時に多く実績をつくることができなかった
- ④ 全体研修として 4 月新人研修、7 月・8 月・9 月で理念の研修、10 月・11 月・12 月で記録の研修
令和 2 年 1 月・2 月・3 月に理念の研修を職員が必ず 1 回参加できるように実施をした今後も継続的に全体研修を取り入れ実施をしていく
- ⑤ 朝礼の開催については個々のフロアーにて継続的に実践できている今後も継続的に実施していく

2、各部門の整備・充実

- ① 入所部門
 - ・約 3 か月で入所満床を実施、入所のベッド稼働向上を目指す
(サービス強化・看護加算申請の実施)
 - ・異常兆候の早期発見を行い入院を最小限に抑える
 - ・入院中のご利用者を早期に施設に戻し空床ベットと期間をなるべく少なくする

【活動成果】

実際満床にできたのは令和1年12月であった。当初の予定より3か月くらい遅れた理由は相談員の離職や入退職の変動により調整が難航したためと考えられる。

加算算定については順調に7月にサービス提供体制加算。12月に日常生活継続支援加算を従来型、ユニット型共に算定可能となりました。

年間の実入院数ですが49名の入院延べ数月平均4床の空床ベットがでていた。実際にショートステイの稼働も満床になっていない為、空床活用の成果はでませんでした。

今後はショートステイの稼働を増加し緊急の受け入れや長期ショートステイの受け入れを空床ベットにて対応を行い円滑に調整が行えるようにしていきます

② 短期入所部門

- ・ 短期入所稼働を7月より開始できるように準備を行う
- ・ 午後入所・午前退所の確立
- ・ 空床ベット活用の実施キャンセル待ち利用者の強化

【活動成果】

ショートステイの稼働は職員の配置体制の整備が早くできたためユニット型のみ5月より開始することができ、従来型も7月には稼働することができた。

現在も午後入所、午前退所の確立はできており稼働率上昇の準備はできている状況

しかし元年度について入所を優先した事や現在コロナウィルスの影響を受けており6割～7割稼働にて推移している状況。

今年度の重点項目としてショートステイの稼働を中心とした取り組みを実施していく予定である

3、施設内感染対策防止及び安全管理対策の強化・継続教育の実施

【活動成果】

施設内感染対策

標準予防策、飛沫感染予防策、接触感染予防策、空気感染予防策、委員会体制を整備し

月1回委員会を開催し活動目標を掲げ実施している【感染委員会活動記録参照】

11月中にインフルエンザ予防接種を利用者全員に摂取。12月中に職員の予防接種を終了した

最終的にインフルエンザ利用者1名発症したが適切な対応により蔓延にはいたらず終息している

新型コロナウイルス対応も3月の初旬に面会制限や手洗い・うがい・マスクの徹底を促し、現在も新型コロナウイルスによる対策を行っている

1年間とくに蔓延した感染もなく体制や予防を実践を実施することにより安全な施設運営が行えているため引き続き感染予防の徹底と蔓延防止に努める

安全管理対策の強化

開設当初より施設内防犯カメラを9か所設置し、365日体制の事務所職員出勤体制により不審者等防犯体制の整備は順調である。また非常災害については2回の避難訓練を実施したが今年度は最大台風の到来等もあり実践に近い状態で体制整備をおこなえた。

今後も継続的に訓練や備蓄等の増加を行い、防犯や災害に対処できる体制を整備していく

4、地域啓蒙活動への取り組み

西南自治会と連携し、施設説明会の実施や施設内除草活動、自治会のお祭りの参加や当施設のお祭りのお手伝い等順調に連携を行っている。【日常生活活動成果参照】

また地域交流スペースとして使用しているパブリックスペースにはヨガや気功、絵手紙教室等により地域の活動場として利用してもらっている。

今後も地域防災協定締結や連携を深め地域に根差した施設運営を実施していきたい

〈令和元年度 ほの里南林間 各委員会活動報告〉

【ユニットケア推進委員会】

開催実績	11 月 19 日 12 月 17 日 1 月 21 日 2 月 18 日 3 月 17 日
今年度委員会での 協議・活動内容	施設長、草薙看護介護部長、平本 UL、松本 UL にて、5 月から 1 月まで、ユニットケア推進センターの開催する研修「地域で愛される施設を作る じっくり取り組みコース」に参加した。その研修で感化された職員一同は、プロジェクトチームを立ち上げる必要性を感じ、本委員会設立の運びとなった。 11 月から活動を開始。従来の業務改善委員会の介護職員に加え、管理栄養士、機能訓練指導員、看護師、介護支援専門員など他職種を構成員とした。 活動内容は、24 時間シートの見直し、設えの改装、など本来のユニットケアを実践するために、現在の業務を見直しながらも、少しずつ計画を進めていった。 しかし問題は研修を受けた職員と、それ以外の職員の意識の差であった。また、構成員が一般の介護職員であったことや、欠席率も高いことから、せっかくプロジェクトチームを立ちあげたというのに、職員全体への波及力は低かった。 そこで次年度からは、委員会構成員を、看護介護部長、各リーダー、他職種、相談員とし、波及力・実行力を高めていくこととした。
次年度に向けて	委員会構成員が変わったことにより、強い波及力に期待。まずは OneDay シートをきっちり作っていくことから活動を改めて進めていく。

感染対策委員会

開催実績	1 回/月 第 1 火曜日 14:10～
今年度委員会での協議・活動内容	【研修】 2019 年 1 月感染管理研修(標準予防策、飛沫感染予防策、接触感染予防策、空気感染予防策、委員会体制など) 4 月新入職者研修 (標準予防策) 8～11 月嘔吐物・排泄物の処理について (演習) 【委員会】 3/12 ・感染対策委員会 年間と月毎の活動目標(案)の検討～承認 ・汚れたオムツを手に持って歩いているのを見かける～汚物袋を外から見えないようにする。 ・入浴介助時など手袋を着用～利用者介助者に傷などない場合はしなくてもいいが、陰部洗浄する時には必ず手袋着用。入浴介助時、便などで足が汚染されることが考えられるため、足袋を使用して下さい。 4/2 ・ディスポタオルがすぐに冷めてしまう、タオルを温めるお湯の出るところがない～キッチン横の洗面所のお湯ができるようにしてほしい。施設長に依頼する。・従来型ではおむつカートが欲しいと言っている～おむつカートは交差感染の危険がある。その利用者の排泄パターンで合わせた介助が必要。順番で排泄介助する考え方をあらためる。 5/7 ・个人防护具の脱ぎ方の演習～委員会メンバーで个人防护具の脱ぎ方の演習、メンバーが各部署で指導する。・陰部洗浄、ウォッシュレットを使っている。シャワシャワは部屋の洗面所のお湯を使っている。暖かくなったので今は問題ない。 6/4 ・食中毒の予防について～委員会メンバーで管理栄養士から研修を受ける。委員会メンバーが各部署で指導する。 7/2 ・環境～日常生活で一番汚れる車椅子の手すりの清拭ができていない。 ・嘔吐物の処理などに不安がある～8 月は委員メンバーで嘔吐物の処理の演習を行い、9 月から全体研修を行う。 8/3 ・委員会時、委員会のメンバーが嘔吐物の処理について演習・演習後、全職員を対象に演習を行う。 9/2 ・全職員が演習を受けられるよう、各部署の委員メンバーが講師になり演習を行う。 ・インフルエンザワクチンについて、入荷が決まり次第詳細を連絡する。 10/1 ・インフルエンザの予防接種、11 月から利用者の体調の良い時に看護師が接種する。そのあと、職員の接種とする予定。・インフルエンザにかかってしまったら、インフルエンザが陽性になった日を 1 日目と数え 5 日間休む。解熱しない場合は解熱後 2 日後から出勤可。同居家族がかかった場合は本人の体調が良ければ出勤可。今後感染の拡大状況で判断する。 ・バルンチューブの取り扱いについて～膀胱より上に採尿バッグを上げない、尿廃棄時、廃棄口を清潔に取り扱う。逆流感染を防ぐ。 11/5 ・インフルエンザワクチン接種について予定表を作成 ・インフルエンザの予防について～委員会のメンバーに質問形式の研修し、委員会メンバーが各部署で研修を行

	う。 12/3 ・ 11 月で利用者のインフルエンザワクチン接種が終わり、12 月 2 日から職員の接種をしている。 ・ 嘔吐下痢の利用者がトイレを使いたいと言ったらどうしたらいいか～その人専用にする。他の利用者が使用しないように鍵をかける等する。 ・ 子供が面会に来ている。咳をしている利用者もいて気になる～特養は家でありなるべく面会制限をしたくないが、インフルエンザや感染性胃腸炎の利用者がひとり以上発生したら、面会制限を検討する。 ・ 連日湿度が 30% 台であり、どうしたらいいか～嫌がらない利用者にはマスクしてもらうのも良い。水分を多めに取り脱水を防ぐ。 1/3 ・ 12 月利用者 1 名インフルエンザ罹患した、その対応について 職員の行き来を制限したほうが良かったのではないかと職員は手洗い、うがい、体調管理を行い、職に就くことが基本なので行き来の制限はしない。面会者のマスク着用が徹底されていない～マスクの効果についてはマスク着用のみで有効とはされていない。手洗いやうがいを行ってマスク着用の効果があるとされている。咳エチケットが基本的な考え方なので、咳をしている人にはマスクを着けてもらってください。面会を止めなかったのはなぜか～今回は外部からの感染であり施設内発生ではなかったため止めなかった。なるべく控えて欲しいこととマスク着用を促した。 ユニットから予防内服は、と問い合わせがあった～外部からの感染であり、その方から感染するようであれば検討すると返答した。 2/4 ・ 1 月の指導監査のラウンド報告 ・ 新型コロナウイルスの対応について、中央林間病院から FAX が届きその内容について連絡「渡航歴のある方の院内立ち入り禁止」など。 3/3 ・ 新型コロナウイルスの対応について 厚生労働省からの通知により、緊急時以外の家族の面会制限や職員の体温 37.5℃以上の時は出勤せず上司に連絡する。業者も入り口で体温測定し 37.5℃以上ある場合は施設に立ち入らないなどの対応をしている。 ・ 利用者が定期受診に行きたいと言います。今は控えた方がいいと伝えたら納得してもらえませんでした。どうしたらいいですか～今受診しなくていい場合、感染のリスクを話し先送りしたらいいかがですかと提案しますが、家族が連れていきたいと言われる場合は、そのようにしています。
次年度に向けて	

看取りケア委員会

開催実績	4月11日、5月10日、6月14日 7月12日、8月9日、9月13日 10月11日、11月8日、12月13日 1月17日、2月14日、3月13日
今年度委員会での 協議・活動内容	看取りケア指針・マニュアルの作成・見直し・改定。 同意書、希望書の書類の準備、整備。 毎月の体重減少や、食事摂取量低下、活動量低下などをもとにした、看取りケアの可能性のある利用者のピックアップ方法を検討、実施。 ピックアップ者の報告、話し合い。 看取りケア時の家族対応について検討、実施。 宿泊（原則利用者居室もしくはパブリックスペース）や面会について(現在も再検討中) 看取りケア対象者についての報告。 看取りケア後の職員に対してのアンケート作成、実施、集計、発表。 看取った際の送り出し方法の検討（待機場所・搬送方法・スタッフの見送り徴集のための音楽の選定） アンケートを基にした今後の看取りケアについての改善点の話し合い。
次年度に向けて	ピックアップ者についてのチェックポイントの検討 看取りケアのケアプラン内容についてケアマネジャーとの連携 家族への対応について再検討（宿泊・面会など） 家族へのアンケートを検討。

教育委員会

開催実績	・ 2019.3.26 ・ 2019.4.18 ・ 2019.5.16 ・ 2019.6.20 ・ 2019.7.18 ・ 2019.8.15 ・ 2019.10.24 ・ 2019.11.21 ・ 2019.12.18 ・ 2020.1.16 ・ 2020.2.20 ・ 2020.3.19 全て 16 : 00～17 : 00
今年度委員会での協議・活動内容	① 協議内容（詳細は各議事録参照） 【委員会】 2019.3.26 ・ 2019 年度教育委員会目的・目標（案）について ・ 2019 年度年間研修スケジュールについて ・ 研修をどの時間帯に行い、月に何回行っていくか ・ 職員の技術チェックリストの作成について、どのような方法で行っていくか ・ 外部研修について 2019.4.18 ・ 2019 年度年間スケジュールの割り振り案について ・ 研修をどの時間に行っていくのか？ ・ 職員チェックリストの土台案の確認 ・ 職員の外部研修について 2019.5.16 ・ 2019 年度年間スケジュールの割り振り案の承認 ・ 職員チェックリストの土台案の確認 2019.6.20 ・ 職員チェックリストの土台案の確認 ・ 今後入職してくる新人職員の教育をどうしていくか？ ・ 業務の統一について ・ 研修予定 2019.7.18 ・ 職員チェックリストの土台案の確認 ・ 新人研修について 2019.8.15 ・ 9 月新人研修のスケジュールと対象者の確認 ・ 新人教育について 2019.10.24 ・ 研修日程について・新人教育について 2019.11.21 ・ 研修日程について・新人教育マニュアルについて 2019.12.18

	・研修日程について・新人教育状況及び進め方について等 2020.1.16 ・倫理綱領の作成について・新人職員の面談について 2020.2.20 ・面談シートについて・倫理綱領（案）について ・新人研修プログラムについて 2020.3.19 ・来年度の年間スケジュールについて ・倫理綱領（案）について ② 活動内容 【研修】 ・4月1日～4日 新人研修実施（新人研修タイムスケジュール参照） 対象：新人職員 ・7月、8月、9月 理念研修実施（担当：草薙、平本、堀） 対象：全職員 ・9月5日、12日 新人研修実施（新人研修タイムスケジュール参照） 対象：新人職員 ・2月、3月（2回） 理念研修実施（担当：大川、下岸、松永） 対象：全職員
次年度に向けて	・次年度の職員研修についてどのような研修を行っていくか ・監査指摘事項について 研修参加者の一覧表とチェック 研修の評価を他の委員会研修でも行う 新規採用者プログラムの作成

施設活動委員会

開催実績	① 8月行事夏祭り実施 ② 12月行事文化祭実施 ③ ボランティア来所（月2回ペース） 臨時で利用者家族ボランティアによる催しを開催 現在コロナウイルスの影響によりボランティア中止
今年度委員会での協議・活動内容	① 利用者への娯楽をどのように提供していくか。 ・行事を計画し実施していく ・ボランティア（団体・家族）を呼んで催しを実施する ・ボランティアとの話し合いは委員メンバーで行っていくが、事務所に依頼できる部分は協力を依頼する ② 職員のレクへの意識付けを行っていく

	・レク物品を作成し使用してもらう ・職員に余暇活動で使えそうなアイデアを募集する ・夏祭りに合わせて施設オリジナルソングとオリジナル体操を作成し、業務の中に組み込んでもらう
次年度に向けて	① 日常生活の中に組み込めるようなレクの提案と実施 ② コロナウイルスの状況を考慮してのボランティア来所 ③ コロナウイルスの状況を考慮しての地域交流実施 ④ 職員のレクへの意識付けと意識向上

排泄委員会

開催実績	毎月1回 第四金曜日 14:10～14:50開催
今年度委員会での協議・活動内容	協議 ・在庫管理の方法について ・アセスメントに基づいた使用パットの選定について ・各ユニットから排泄に関する困難事例を持ちより検討 ・各ユニットごとに使用パットを計算し、全体量を把握 ・コスト意識の定着 活動内容 ・3か月に1回の光洋によるオムツのあて方研修 ・各ユニット内で、使用パットの見直しを提案 ・アセスメントに基づきモニタリングを実施・評価を行う ・年度末の棚卸
次年度に向けて	・光洋による研修を2か月に1度実施しすることを定着させる。 ・研修実施内容を職員のスキルに合わせて実施。 ・ユニット内での排泄レクチャーを排泄委員が中心となつて行う。 ・コスト意識を持ってもらうために、パットの単価表を作成する。 ・半年に一回の棚卸の実施。

防災委員会

開催実績	平成 31 年 3 月 21 日・4 月 19 日・6 月 21 日・9 月 20 日・10 月 18 日・1 月 30 日 避難訓練実績 令和元年 7 月 19 日(日中訓練) 令和元年 9 月 17 日(研修夜間想定訓練)
今年度委員会での協議・活動内容	年 2 回の避難訓練の実施。 ⇒消火訓練、避難訓練⇒日中、夜間想定(避難経路を設定して提出) ・非常口は非常時にオートで開く(鍵なし)⇒再度確認する。 ・備蓄庫⇒パブリックスペースの奥、スタッフルーム内 150 名×3 日分に備蓄予定。 ★9 月に夜間想定行う ★緊急時マニュアル(施設内)作成⇒5 月に委員で集まり動いてみてまとめる(5 月委員会 2 回実施予定) ★消火訓練 9 月行う ★連絡網作成 ★ほの里ルール⇒震度 5 強以上で職員招集(自身の身の安全、家族優先) ★電子錠開くのか(停電時等)確認。 避難訓練日程等 ・7 月 8 日(月)に日中帯を想定した全館での避難訓練を実施する。 - 火元の設定は厨房から出火を想定する。 ・避難経路の役割分担について 6 月までに訓練の想定を委員長が作成する。 点呼訓練について ・毎月 29 日 10 時より点呼訓練を実施する。(2 月は 28 日) ・本部を医務としユニットより早番 NS (PHS 5 3 4) に現在入居者〇〇名、外出者(入院) 〇〇名と報告する。 ・4 月より点呼訓練開始となる。 自主点検表について ・5 月より自主点検表を毎日チェックしていく。 【台風等災害時の問題について】 大型台風直撃 ・停電になった場合：酸素濃縮器を使用している方の非常用電源は 1F⇒エレベーター前、2F・3F⇒ステーションにある為、居室からの延長コードが必要となる。 ・ヘルメットの準備が必要。 ・ラジオは各ユニットにある白いラジカセを使う(電池が必要) ・雨漏り、窓ガラスが割れた時の対策が必要。 ・施設長からコラボにスタッフの宿泊について記載があったが、もう少し詳しく寝る場所について説明が欲しかった。 (空いている居室に泊まったが、今後満床になった場合はどうするのか?) ・備蓄食料品の数が足りない(入居者様の 1 日分しかない) 職員と入居者様の分として 200 人

	× 3 日分は必要。 ・ 1 F に本部を置く。PHS が使えないので 1 F に報告に行く。 点呼点検について 毎月 29 日の早番が医務に連絡をする事になっていたが周知されておらず連絡なしとの事。 本日廃止と決定。 災害時のリュックサックの件 介護日誌を持ち出しで対応。 入居者、外泊者、（入院、外泊者）の把握。今後、災害用リュックサックを各ユニットに設置予定。その中に入れる。 連絡手段の検討 →現時点では医務の PHS のみが使用できる。コラボ内のプロフィールの見直し及び更新。 ほの里の見取り図を基に消火器、消火栓の場所を確認する。
次年度に向けて	開設 1 年目で体制整備が中心であったが、何十年に一度の大型台風もあり、早期の体制整備が必要と感じる年度であった。近日地震等も増えており災害時に混乱しない様に準備や訓練を積み重ねる年度にしたいと考える

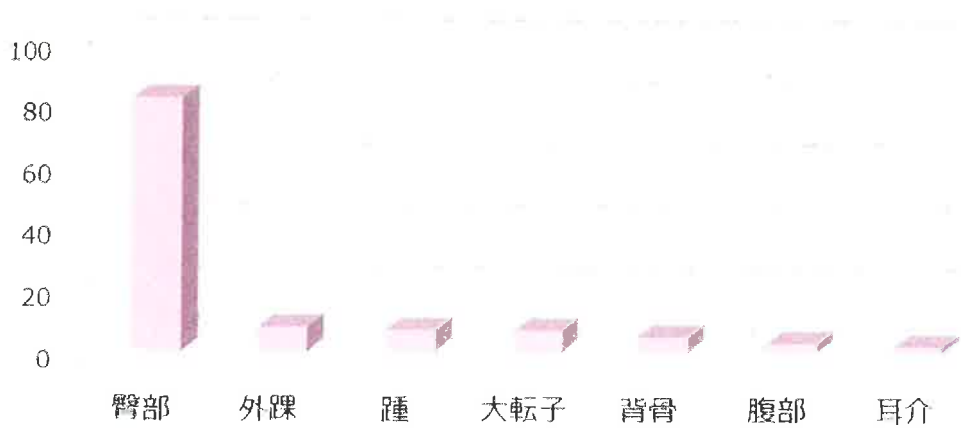
褥瘡委員会

開催実績	1 回/月 第一金曜日 14:10～15:00
今年度委員会での 協議・活動内容	・ 1 回/月 褥瘡発生率を明記した一覧表を各ユニットへ配布 自ユニットの褥瘡発生者のみえる化を行った ・ 褥瘡発生者から推測される施設全体やユニットでの傾向を委員会メンバーへ伝達し、毎月の目標が達成できるよう周知する時間に充てた。 ・ 委員会メンバーは、褥瘡推進に携わっていた経験がないメンバーが多数であったため、委員会メンバーから知識向上できるよう学習会の機会を設けた。（ポジショニングについて） ・ 施設内で発生している褥瘡の大多数が、臀部に発生する褥瘡であることが半年過ぎて明らかになってきたため、臀部の褥瘡に対して重点的に予防することを委員会にて決定した。 ・ 臀部の褥瘡予防ではズレと乾燥によるものと看護師にてアセスメントをし、介護職へその旨を周知するため毎月アナウンス、実践の依頼を行った。

	・利用者の臀部の乾燥予防のため、保湿剤を繰り返し使用可能とし、個人に必ず 1 本補充できるよう、委員会メンバーが在庫管理、補充する仕組みを作った。 ・施設での褥瘡発生の傾向として、冬季の乾燥する時期に発生率が上昇していることから、12～3 月までは保湿の強化を委員会メンバーに推進してもらった。
次年度に向けて	・褥瘡予防ケアの重要性を委員会メンバーだけではなく、全職員へ周知できるよう、推進活動を行っていく。 ・そのためには、委員会メンバーによる推進活動の一環として、全職員を対象とした学習会を実施する機会を下半期に開催する。 ・資料 1， 2 から分かるように、臀部に発生する褥瘡が明らかに多いため、座位保持によるズレやムレにより発生していることが明らかとなったため、ポジショニングや座り直しなどを職員に対し周知できる機会を多く作っていきたい。 ・全身の乾燥予防に努めるため、委員会メンバーによる保湿剤の在庫管理、補充は継続とする。 ・褥瘡発生率を一覧にすることは継続して実施する。

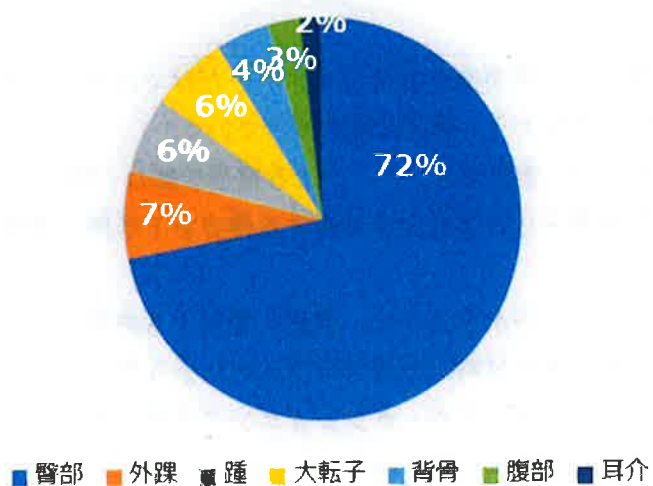
次年度に向けて
資料 1

R元年度 ほの里南林間 部位別褥瘡発生件数



R元年度 ほの里南林間 部位別褥瘡発生

件数



<令和元年度 地域活動成果について>

① ボランティア活動実績

・マンドリン演奏

・・・令和元年6月14日(金) 15:30～16:00 令和2年2月21日(金) 14:00～15:00

活動成果

1階パブリックスペースにて開催。多くの利用者様に参加頂きました。歌詞カードを見ながら、一緒に懐かしい歌を歌いました。利用者様のご家族も演奏者として参加されており、利用者様も大変喜ばれていました。

・ほの里歌声サロン(スリーズ)・・・令和元年10月21日(月) 10:30～11:30

活動の成果

利用者様のご家族の紹介で訪問された。1階パブリックスペースで開催された。エレクトーンの演奏に合わせて14曲を利用者の皆さんと一緒に歌いました。他施設にも定期的に訪問されているとのことで、進行も上手でとても盛り上がっていました。

・日本舞踊・・・令和元年11月9日(土) 14:00～15:00

活動の成果

利用者様のご家族の紹介で訪問された。1階パブリックスペースで開催された。音楽に合わせて、踊りを披露して頂きました。着物を着たお子様の踊りもあり、利用者からは「かわいい」との歓声があがっていました。

・女性コーラスグループ・・・令和元年11月22日(金) 14:00～15:00

活動成果

10名の方に訪問頂きました。1階パブリックスペースにて開催。多くの利用者様に参加頂きました。歌詞カードを見ながら、一緒に懐かしい歌を歌いました。

・南京玉すだれ・・・令和元年12月7日(土) 14:00～14:30

活動成果

1階パブリックスペースにて開催。「さて、さて、さてさてさて、さては南京玉すだれ」の威勢良い掛け声を利用者様も唱和され、「あれは何だろう」と考えている様子が、とても印象的でした。

・ポップコーン、綿菓子配布(NPO 太陽の会)・・・令和元年12月14日(土) 10:00～12:00

活動成果

施設全体のクリスマス会の一環で訪問頂きました。1階パブリックスペースにて開催。配布場所には行列が出来、「良いにおいがするわね」「おいしい」等、とても喜ばれていました。

・ハンドベル(レインボー)・・・令和元年12月14日(土) 14:00～15:00

活動成果

施設全体のクリスマス会の一環で訪問頂きました。1階パブリックスペースにて開催。10名の方が来所され、クリスマスの曲をハンドベルで演奏して頂きました。曲の中で小さい鈴を配り一緒に演奏する曲目があり、利用者様も演奏を楽しまれていました。パブリックスペースが埋まるほどの多くの方が参加しました。

・お笑いマジックショー(相模亭 長介)・・・令和元年12月24日(火)14:00～15:00

活動成果

NPO 太陽の会様の紹介で訪問頂きました。高齢者を対象にしたマジックだったため、随所に配慮が見られました。途中利用者様も参加する時間があり、「どうして、この紐が繋がってしまうんだろう」と考えられている様子が印象的でした。今回も大勢の方に参加頂き、会場は盛り上がっていました。

・和太鼓、新舞踊(相模湧和太鼓・松美流 みその会)・・・令和2年1月18日(土)14:00～15:00

活動成果

6名の方に雪の降る中、訪問頂きました。1階パブリックスペースにて開催。和太鼓と音楽に合わせて、新舞踊を披露して頂きました。太鼓のパワフルな音に合わせて、手拍子され、会場は大盛り上がりでした。

・フラダンス(フラフィオルオル)・・・令和2年1月25日(土) 14:00～15:00

活動成果

15名の方に訪問頂きました。1階パブリックスペースにて開催。華やかな衣装を着た、お子様がハワイアン音楽に合わせて踊る姿に利用者様も「可愛いわね」「上手」と大きな歓声が聞かれました。とても盛り上がっていました。

② 地域交流実績

・ほの里南林間夏祭り・・・令和元年8月31日(土) 16:30～20:30

活動成果【利用者様:約100名 ご家族・地域住民:約200名】

西南自治会様のご協力で、ほの里南林間開所後、初の夏祭りを開催した。自治会の方々には、会場のテント設営や備品のレンタルや駐車場の確保など、ご尽力頂きました。2部制で開催し、1部は利用者様を対象とした職員の出し物や屋台販売。2部は地域の方々を対象とした屋台販売と盆踊りを実施しました。多くの方々が来所され、大盛況でした。

・美化清掃・・・令和元年8月7日(水) 10:00～11:00

活動成果

地域住民に参加頂き、施設の除草作業を職員と一緒に行いました。近隣の方、10名にご協力頂きました。作業後には、当施設への貴重なご意見を頂くことが出来ました。

・南林間西南自治会福祉部 施設見学会・研修・・・令和元年10月14日

活動成果【参加者:40名】

南林間西南自治会福祉部様より、施設見学と研修協力の依頼を受け開催しました。

前半は、ほの里南林間の施設紹介と特別養護老人ホームとはどのような施設なのか資料配布し説明会を行いました。後半は4グループに分かれて施設内を見学頂きました。見学終了後に質疑応答の時間を設け、利用料金のことや、入所するための条件など様々な質問を受けました。今後もこのような機会を設けて、地域で役立つ施設を目指していきたいと考えます。

・餅つき大会(西南自治会)・・・令和2年1月18日(土) 10:00～15:00

活動成果【利用者様:約80名 地域住民:10名】

西南自治会様のご協力で、備品レンタルと当日の餅作りについてご尽力頂きました。利用者様と職員が餅つきした物を職員と自治会の皆様で振る舞いました。

③ クラブ活動開催実績

今年度、クラブ活動開催の実績なし。

